

## 令和3年度 第2回タウンミーティング

### 能美市商工会青年部とのタウンミーティング

日 時 令和3年11月16日(火) 19時30分～21時00分

場 所 辰口福祉会館 交流ホール

参加人数 42人

#### 1) 青年部 部長 挨拶

#### 2) 市長 挨拶、市政報告

#### 3) 意見交換

(参加者)

①3ヶ所での花火が今後も打ち上げられるのか。また、今回打ち上げるときに周りの近隣住民に対してどういうことをしたのか。

(市長)

まず3ヶ所で上げるかどうかというのは、根上七夕まつり、辰口まつりが中止になるかどうかというのが一番のキーワードで、来年はぜひそれぞれの祭りで花火を上げたい。そうすると、3ヶ所で上げるということは難しいかなと思う。それから、これまで七夕まつりのときには中ノ江から上げていたが、花火を上げる場合は、上げる前も、上げた後も掃除が大変だということで、今回、根上地区は福島グランパークにした。今後、福島グランパークで上げることが難しくなると、ほかの適地をもう一回探すということになるので、候補の一つからすると中ノ江になるのかなと思う。住民の皆様方には、きちんと説明しに行ってお協力をお願いした。翌日には、市の職員も出て掃除をした。

(参加者)

②福島グランパークの今止まっている道から先のところも企業誘致があるのか。

(市長)

福島グランパーク前の道路が海浜産業道路で2023年には橋もできると聞いている。ただ、道の整備は川北の橋まではできるが、その後はそれ以後ということになる。

能美市の産業団地をどうしていくかということに関しては、まず福島グランパークを完売しないと次に着手できない。これはどういうことかということ、この土地の利用を変えていくというためには、今持ってる産業団地を完売しないとすぐ着手できないという

ようなルールがあり、さっき申し上げたように、まだ25%残っている。その25%がなくなったときに、次どうするかということを考えていきたい。

(参加者)

③除雪体制について、今年から出動基準が5センチからやっていくということで、企業としては出動回数が増えてくる可能性がある。また、金沢大学の跡地を宅地造成していくということで、宅地が増えて、その除雪も入ってくるとなると、これから人の確保など除雪体制がすごく大変になってくる。今後、消雪装置などがどういう形で整備されていくのかということをお聞かせいただきたい。

(市長)

市では、オペレーターを養成するための費用の一部を助成したり、機械を維持していくために、出来高払いから年間である程度の日数を保障するようにもさせていただいた。

また、今後、除雪する面積が増えていくということになれば、さらにそういった助成制度を強化していく必要もあるし、機械を購入する場合のそういった施策みたいなものを考えていかななくてはならない。

次に、消雪装置の新設にはいろんな難しい問題がある。まずは地下水が出るかどうか、それから地下水が出てても地盤沈下が起きないかとか、ほかの地下水井戸に影響を及ぼさないかどうかというのをきちんと見極める必要がある。

現在、ポンプで消雪するところは本当に老朽化している。これを直すということにも相当のお金が必要になってくるので、今はまず新設ということよりも既存の消雪装置を直すということに重点をおいて進めている。

(参加者)

④石川県商工会青年部連合会では、石川県のそれぞれの地域の魅力を発信する石川県版の冊子を作って、来年の青年部の全国大会で配布して石川県に来てもらおうと思っているが、能美市のオンリーワンを1つ挙げるとしたら何か。

(市長)

まずは九谷焼を体験できる場所、さっき言った体験館。自分の九谷焼を作る、これは世界に1つしかない九谷焼なので、そういった作れる場所があるということ。それから、九谷焼の作家さんが作っている場所を直接見れる、その技能を直接体験できる場所があること。それから、九谷焼を使ったおいしい料理が食べられる場所があること、そういった九谷焼の多くの魅力を発信できるものが幾つも幾重にも備わっているところは、私は能美市しかないと思っている。

また、ウルトラマンも今の時代の親の皆さんたちにとってはブーム。それから、いしかわ動物園、これは上野動物園に比べればオンリーワンではないが、ターゲットを日本

ではなく北陸エリアにすれば、やっぱりオンリーワンになる。

だから、社会層をどう見るか、年齢層をどう見るか、住んでるところをどう見るかによって、オンリーワンというのは変わってくるので、そこをしっかりと見据えてオンリーワンというものを発信をしていきたい。

(参加者)

⑤青年部で毎年行っている事業に、寺井高校生対象の事業者紹介を行っているが、高校生との間で距離があり、説明してもなかなか理解されない。一緒に何かできるような、今後、若い子の意見を取り入れるような、長いスパンで高校生を巻き込んだプロジェクトというものを考えたことはあるか。

(市長)

プロジェクトまではいかないが、タウンミーティングはこれまでも寺井高校生、J A I S Tの学生と何回もやっている。例えば、寺井高校生とタウンミーティングしたときに意見が出た中から、現状を見て能美根上駅に待合室を造った。また、のみバスを利用してもらうために、寺井高校の敷地内にバスを入れたり、定期券の割引を行ったり、市議会の議場に來てもらって高校生が議員になって各自提案をしてもらう機会もあった。そして、のみバスをもっと利用してもらうために何かキャラクターを考えてもらえないかということで考えてもらったのが、このひぼ能ん、ゆず美ん、ぽぼ能んで、それ以来、いろんな交流をしていて、少しずつ参加してもらう人を増やしていくことで興味を持ってもらいながら能美市をよくしていければと思っている。

#### 4) 青年部 部長 挨拶

以上